

奄美群島振興交付金事業計画(H26～H30)の実績に関する評価(総括)

1 成果目標の達成状況

評価対象 事業数	成果目標 設定数	達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	【参考】 達成+ おおむね達成
		41 (52%)	21 (27%)	16 (20%)	1 (1%)	
68	79 (100%)	41 (52%)	21 (27%)	16 (20%)	1 (1%)	62 (78%)

※「達成」…達成度100%以上, 「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満, 「未達成」…達成度70%未満

2 評価結果

【達成度の判定】○(達成):100%以上, △(おおむね達成):70%以上100%未満, ×(未達成):70%未満

1	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量 ※農林水産物(花卉を除く)はt, 花卉は千本					
	奄美群島農林水産物輸送コスト支援事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 23 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値(花き除く)	43,741 t	51,521 t	46,898 t	91.0%	△
				値(花き)	84,743 千本	101,691 千本	52,472 千本	51.6%	×
	事業実施年度	評価	生産基盤の強化が図られ、前年度に比べ出荷量が増加した品目がある一方、気象等の影響もあり出荷量は最終目標値には未達であった。						
	H 26 ~ H 30								
	事業主体	今後の取組方針	栽培面積の減少や気象の影響により目標には達していないが、今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実践され、生産基盤の強化が図られるよう、市町村等との連携を強化する。						
	市町村								
2	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数					
	奄美群島航空運賃軽減事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 24 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	546 千人	601 千人	615 千人	102.3%	○
				評価	航空輸送旅客利用者数は前年度との比較において増加しており、奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
	事業実施年度	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						
	H 26 ~ H 30								
	事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
3	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)					
	奄美群島航路運賃軽減事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 24 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	120 千人	127 千人	121 千人	95.3%	△
				評価	多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
	事業実施年度	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						
	H 26 ~ H 30								
	事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
4	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数					
	奄美群島交流需要喚起対策特別事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 24 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値(①航空)	234 千人	314 千人	741 千人	236.0%	○
				値(②航路)	188 千人	195 千人	189 千人	96.9%	△
	事業実施年度	評価	奄美群島における交流人口の拡大が図られている。						
	H 26 ~ H 30								
	事業主体	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。						
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会								
5	事業名	成果目標及び達成状況	アウトカム指標	航空輸送旅客利用者数と航路輸送旅客利用者数の合計					
	奄美・沖縄連携交流促進事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	99 千人	108 千人	137 千人	126.9%	○
				評価	多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
	事業実施年度	今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						
	H 28 ~ H 30								
	事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							

6	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	屋久島への寄港回数				
	海洋世界遺産ロード 構築事業(世界遺産 「奄美・沖縄-屋久 島」を結ぶ航路支援事 業)		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	H 30		値	0 回	60 回	52 回	86.7%	△
	事業主体		評価	支援の実施により、運航事業者は当初「乗船予約20名以上」としていた寄港条件を「2名以上」に引き下げ、寄港回数の増加につながっているところ。				
	奄美群島航空・航路 運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、屋久島寄港の安定的な継続と奄美・屋久島両地域の周遊性向上を図る。					
7	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	海面漁業の生産額				
	水産資源利用開発調 査		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 22 年度	平成 30 年度	平成 29 年度		
	H 26 ~ H 30		値	9,749 百万円	11,157 百万円	1,655 百万円	14.8%	×
	事業主体		評価	(H29)漁船漁業においては、かつお・まぐろ類等の漁獲量が増加したため、生産額も増加した。				
	鹿児島県	今後の取組方針	地域特産種の資源増大や、藻場造成、クロマグロ養殖の効率的な推進のための試験研究や調査および未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。					
8	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	森林資源活用調査報告書作成				
	森林資源活用調査		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 29 年度		
	H 26 ~ H 30		値			報告書の作成	100.0%	○
	事業主体		評価	森林資源活用調査のデータを取りまとめ、業務報告書を作成。早期広葉樹林化への誘導技術に関する研究の中間結果を亜熱帯森林・林業研究発表会にて発表及び鹿児島県森林技術総合センター発表会にてポスター発表。				
	鹿児島県	今後の取組方針	引き続き、調査地で調査しデータを取りまとめ、早期広葉樹林化への誘導技術に関する調査報告書を作成する。					
9	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の世界自然遺産登録を実現する。				
	奄美群島世界自然遺 産登録推進事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	H 26		値	0 か所	1 か所	0 か所	0.0%	×
	事業主体		評価	世界自然遺産登録に向けた課題に対し、一定の方向性及び取組案を示した。				
	鹿児島県	今後の取組方針	後継事業(奄美群島世界自然遺産候補地保全・活用事業)にて引き続き取り組む。					
10	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の世界自然遺産登録を実現する。				
	奄美群島世界自然遺 産候補地保全・活用 事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	H 27 ~ H 30		値	0 か所	1 か所	0 か所	0.0%	×
	事業主体		評価	核心地域における利用ルールの方策や世界自然遺産奄美トレイルのルート選定、公共事業配慮指針の段階的運用などを実施した。				
	鹿児島県	今後の取組方針	引き続き、世界自然遺産登録後を見据え観光客の増加を想定した過剰利用対策や公共事業配慮指針の段階的運用、世界自然遺産奄美トレイルのルート選定等を行い、令和2年度の世界自然遺産登録の実現を目指す。					
11	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数				
	奄美自然観察の森整 備事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	H 26 ~ H 30		値	5,392 人	15,000 人	18,311 人	122.1%	○
	事業主体		評価	H30は施設整備に係る実施設計、ボードウォークの一部を施工。				
	龍郷町	今後の取組方針	世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据え、遺産地域への利用集中を避けるため、気軽に奄美の森を体験できる施設として、引き続き令和3年度まで必要な施設等の整備を行う。					

12	番号	事業名	アウトカム指標	ウミガメ産卵巣の食害件数(奄美市, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町, 龍郷町)				
	成果目標及び達成状況	希少野生生物保護対策事業	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 28 年度		
			値	116 件	30 件	6 件	達成	○
	事業実施年度	H 27 ~ H 29	評価	H29に作成した「ウミガメの卵捕食対策の手引き」を県ホームページに掲載するとともに、関係市町村へ配布し、より一層のウミガメ保護に関する普及啓発が図られた。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	平成30年度から市町村が地域の実情にあわせて対策手法を選択し、産卵巣の食害の減少に取り組む。					
13	番号	事業名	アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数				
	成果目標及び達成状況	ハブ対策事業(ハブ咬症対策事業)	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	0 人	0 人	達成	○
	事業実施年度	H 26 ~ H 30	評価	(H26)ハブ咬傷による死亡者が1人, 10年ぶりで発生した。(H27~H30)ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。					
14	番号	事業名	アウトカム指標	ハブ咬傷者数				
	成果目標及び達成状況	ハブ対策事業(ハブ駆除対策事業)	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	H16~H25の平均	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	61.6 人	60 人以下	47 人	達成	○
	事業実施年度	H 26 ~ H 30	評価	咬傷者数は47人で、目標は達成したが、前年度より増加したことから引き続き咬傷予防等の情報発信に努める必要がある。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	ハブ咬傷者数55人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。					
15	番号	事業名	アウトカム指標	奄美ブラム新系統の面積				
	成果目標及び達成状況	農業創出緊急支援推進事業(奄美ブラム)	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 ha	10 ha	15.3 ha	153.0%	○
	事業実施年度	H 26 ~ H 28	評価	台木に穂木を接いで652本(3.6ha:18本/10aで積算)植付けた。最終年度目標値10haに対し15.3haで、達成度153%となった。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	市町村独自の苗木助成事業等を活用し栽培面積拡大を図る。					
16	番号	事業名	アウトカム指標	フル(葉にんにく)の生産性向上				
	成果目標及び達成状況	農業創出緊急支援推進事業(フル)	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	710 kg/10a	920 kg/10a	710 kg/10a	77.2%	△
	事業実施年度	H 29 ~ H 30	評価	生産性向上のため、フルの優良系統の育成及び栽培法の検討を行った。実績値は目標値を下回る実績となったが、今後、増殖を行い、現地普及により、数値の向上が期待できる。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	現地でのフルの優良系統・ウイルスフリー苗の供給に向け、引き続き、苗の増殖及び試験場における栽培試験を行う。					
17	番号	事業名	アウトカム指標	宿泊観光客数				
	成果目標及び達成状況	奄美パーク展示等リニューアル事業	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 26 年	平成 30 年	平成 30 年		
			値	659 千人	737 千人	885 千人	120.1%	○
	事業実施年度	H 28 ~ H 30	評価	目標を達成しているが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
事業主体	鹿児島県	今後の取組方針	令和2年の世界自然遺産登録に向け、着実に事業の推進を図る。					
18	番号	事業名	アウトカム指標	奄美群島における入込客数(空路)の増加				
	成果目標及び達成状況	観光情報拠点施設整備事業	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	491,391 人	550,000 人	654,490 人	119.0%	○
	事業実施年度	H 28 ~ H 30	評価	目標値を大幅に上回ったことは評価するものの、今後の入込客数の更なる増加につながるよう、引き続き各種施策を推進する。				
事業主体	奄美空港ターミナルビル(株)	今後の取組方針	観光情報発信のための施設の整備等に伴い、想定を上回るスピードで入込客数が増加が図られたところであり、今後とも引き続き、地域産業と連携した観光情報発信に努める。					

番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標		情報通信産業事業所数の増加			
			区分	基準	目標	実績	達成度	判定
19	情報通信産業人材育成	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		20 社	30 社	31 社	103.3%	○	
	事業実施年度	評価	達成状況は良好。					
	H 26 ~ H 29							
	事業主体	今後の取組方針	市内情報通信関連事業所やフリーランス等個人事業主に対して、ICTに関連した先進的な技術やサービスの活用方法を自発的に習得するための支援を行っていく。					
	奄美市							
20	観光拠点連携整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		686,270 人	703,000 人	885,411 人	125.9%	○	
	事業実施年度	評価	目標を大幅に達成。					
	H 26 ~ H 29							
	事業主体	今後の取組方針	今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備の検討を進める。					
	市町村							
21	大浜海浜公園整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		68,727 人	70,000 人	65,570 人	93.7%	△	
	事業実施年度	評価	目標値には届かなかったが、近年の利用者は増加傾向にあり、本整備事業によって効果的な観光地整備が実施できたものとする。					
	H 30							
	事業主体	今後の取組方針	海洋展示館リニューアル整備を予定しており(R2~)、複数の魅力を持つ観光拠点施設としての機能強化を図る。					
	奄美市							
22	奄美博物館リニューアル事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		25.6 人	37.0 人	33.8 人	91.4%	△	
	事業実施年度	評価	世界自然遺産登録の機運の高まり等により、入館者数は増加傾向にある。					
	H 30							
	事業主体	今後の取組方針	令和元年度に全面リニューアルを実施することで、奄美の自然・歴史・文化に関する展示内容をこれまで以上に充実させ、SNS等を用いた情報発信を行い、入館者数の増加を図る。					
	奄美市							
23	奄美フォレストポリス整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		18,629 人	20,000 人	18,422 人	92.1%	△	
	事業実施年度	評価	奄美フォレストポリス再整備は半ばであり、今後の入込客数の更なる増加につながるよう着実な事業推進を図る。					
	H 30							
	事業主体	今後の取組方針	今後とも引き続き世界自然遺産登録も見据えた計画的な奄美フォレストポリスの園地全体の再整備が必要となる。					
	大和村							
24	湯湾岳展望台整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		5,605 人	5,900 人	5,112 人	86.6%	△	
	事業実施年度	評価	国立公園事業執行協議書に対する許可に不測の日数を要したことにより、事業が繰越となった。来訪者数は上昇傾向にある。					
	H 29 ~ H 30							
	事業主体	今後の取組方針	今後2年間の継続事業であるため、早期整備完了を目指す。完了後、速やかに情報発信等を行い観光客増へつなげたい。					
	宇検村							
25	つなげよう命の結びプロジェクト	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
	年度		平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	値		0 基	12 基	12 基	100.0%	○	
	事業実施年度	評価	AEDの屋外移行達成済み					
	H 29							
	事業主体	今後の取組方針	保守点検を行い維持管理に努めるほか、学校や集落、団体・企業へのAED取扱いを含めた救急講習会を定期的に開催することにより、救命率向上を図る。					
	龍郷町							

26	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	閑散期(2月)龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数					
	集落観光案内板整備 事業	H 30	今後の取組方針	区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
				年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	54 か所	60 か所	172 か所	286.7%	○	
	事業実施年度	事業主体	龍郷町	今後の取組方針	平成31年度に集落観光案内看板20基を設置。集落観光案内看板と集落ガイドブックを連携・活用して、観光客への情報案内ツールとして町内周遊を加速させる。					
事業主体	龍郷町									
27	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	西郷隆盛が寄寓した奥山家庭園に来訪した観光客数					
	西郷腰掛け松周辺整備 事業	H 30	今後の取組方針	区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
				年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	500 人	900 人	0 人	0.0%	×	
	事業実施年度	事業主体	徳之島町	今後の取組方針	年度末まで整備を行っており、来訪客の受入れが不可能であった。 (参考:令和元年度観光客数実績 729名)					
事業主体	徳之島町			当該地域においては、集落内に点在する史跡・名所を巡る街あるきマップとして、西郷腰掛け松も含めて作成している。また、われんぎゃエコツアーガイドの育成や伝統文化の保存継承等に力を入れ、地域活性化を図っている。その他、第46代横綱「朝潮太郎」記念館の建設も行っており、地域全体が魅力ある観光地として定着化するよう情報発信を行い、入込客数増加につなげる。						
28	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	町内観光地への入込客数					
	大和城周辺整備 事業	H 29 ~ H 30	今後の取組方針	区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
				年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	4,890 人	5,000 人	6,123 人	122.5%	○	
	事業実施年度	事業主体	天城町	今後の取組方針	平成30年度の目標値を達成したことは評価するものの整備は半ばであり、入込客数の更なる増加につながるよう事業推進を図る。					
事業主体	天城町			今後の入込客数の更なる増加につながるよう事業推進を図るとともに世界自然遺産登録を見据えた環境と自然に配慮した事業推進を行う。						
29	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①クルーズ船受入数 ②クルーズ船受入延べ人数					
	平土野港観光施設整備 事業	H 30	今後の取組方針	区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
				年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値(①)	0 隻	1 隻	0 隻	0.0%	×	
	事業実施年度	事業主体	天城町	今後の取組方針	目標値を達成出来なかったため今後はさらなる受入環境の充実化を図るとともに観光地の整備や広報・PR強化に努める。(参考:R1実績 3隻、1,149人)					
事業主体	天城町			今後はさらなる受入環境の充実化を図るとともに観光地の整備や広報・PR強化に努める。						
30	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①アマミノクロウサギの生息頭数 ②アマミノクロウサギ観察小屋の利用客数					
	アマミノクロウサギの 里整備事業	H 30	今後の取組方針	区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
				年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値(①)	200 頭	200 頭	200 頭	100.0%	○	
	事業実施年度	事業主体	天城町	今後の取組方針	平成30年度の目標値を大幅に達成したが、今後の入込客数の更なる増加につながるよう着実な事業推進を図る。					
事業主体	天城町			世界自然遺産への関心が高まっている中で、さらなる入込客数が増えると思込まれるため、更なる整備、観光利用の促進と環境教育等に努める。						
31	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①地元住民と会話をした回数 ②今回の目的が終わった後も関係を持ちたい出会いがあった割合					
	知名町交流拠点創出 事業	H 30	今後の取組方針	区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
				年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
				値	0 回	5 回	3 回	60.0%	×	
	事業実施年度	事業主体	知名町	今後の取組方針	今後も関係を持ちたい出会いの割合が目標値を大きく上回ったことは評価するが、地元住民との会話機会の創出をより図る必要がある。					
事業主体	知名町			事業参加者らに生まれた全体イメージを形にするべく、来年度より実施に移行する。本事業終了後も自走してプロジェクトを進めていけるための仕組みづくりを中心に行っていく。						

32	事業名	アウトカム指標	大金久海岸・百合ヶ浜を訪問する旅行客数				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	17,000 人	22,365 人	20,840 人	93.2%	△
	H 30	評価	旧遊歩道周辺の伐採等は完了したが、大型台風の襲来により予定していた遊歩道の改修舗装工事着工が大幅に遅れてしまい、翌年度へと繰越になった。				
事業主体	今後の取組方針	平成30年度から始まった旧遊歩道コースの改修舗装工事を進め、次期5年以内の完成を目指したい。					
33	事業名	アウトカム指標	奄美群島の小学校・中学校に留学する人数				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	39 人	43 人	113 人	262.8%	○
	H 29 ~ H 30	評価	目標を大幅に達成し、将来の産業の担い手確保につながる施策として、離島留学を実施できた。				
事業主体	今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。					
34	事業名	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	60 %	64 %	56 %	87.7%	△
	H 30	評価	目標達成には至らなかったが、スマートフォンユーザーに対するインターフェース強化及びSNSマーケティング事業で広告と情報発信で閲覧者の属性、トータル100万リーチ達成・調査のQRコード化へポスターデザイン制作とアンケートフォーム作成を実施した。				
事業主体	今後の取組方針	QRコードによる満足度調査による多くのサンプルから、KPI(満足度・消費額・宿泊日数・リピーター率)の成果に基づき、課題抽出、解析などPDCAサイクルによる課題解決に活用する。					
35	事業名	アウトカム指標	体験事業による受入人数				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	320 人	350 人	1,800 人	514.3%	○
	H 30	評価	大和村観光メニューの創出や事業者の育成・確保、誘客効果をもたらすイベント開催が定着しつつあり、良好な流れが生まれている。				
事業主体	今後の取組方針	これまでは事業者を育成・確保するためのセミナー等の研修メニューが中心であったが、R3以降は「観光外貨獲得」に向けたメニューを中心に取り組む。					
36	事業名	アウトカム指標	秋名幾里地区への年間延べ宿泊者数				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	16 人	24 人	90 人	375.0%	○
	H 30	評価	民泊対象民家整備事業として空家2棟を整備し、宿泊客の受け入れを開始(H31年1月～)。民泊事業者の育成や体験プログラムの実証等を行った。				
事業主体	今後の取組方針	民泊事業の運営支援を担う「民泊窓口拠点」も整備し、地域が主体となった体験・交流型観光事業を展開する。					
37	事業名	アウトカム指標	井之川集落まるごと体験プログラムへの参加者数				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	0 人	10 人	0 人	0.0%	×
	H 30	評価	民泊施設の改修が、令和元年度へ繰越したため体験プログラムを実施できなかった。				
事業主体	今後の取組方針	民泊事業の運営支援を担う「民泊窓口拠点」も整備し、地域が主体となった体験・交流型観光事業を展開する。					
38	事業名	アウトカム指標	入込客数				
	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標	実績	達成度	判定
		年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
	事業実施年度	値	54,097 人	68,000 人	69,466 人	102.2%	○
	H 30	評価	民泊施設(5箇所)の水周りを中心とした改修を行い、平成30年度の島内に入込客数は、69,466人と目標達成出来ている。				
事業主体	今後の取組方針	視察研修や講習会等を継続的に行い、事業者の確保やスキルアップ等に努める。					

39	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	援農ボランティア受入拠点の数				
	農業体験宿泊等推進 事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 か所	2 か所	2 か所	100.0%	○
	事業実施年度		評価	空き家(2箇所)の水周りを中心とした改修を行い目標を達成している。				
H 30								
事業主体	今後の取組方針	援農プログラムを通じたボランティアの受け入れを行い着地型商品の 造成を行うことで、地域を知ってもらい長期的な滞在及び移住定住の促 進につなげる。						
与論町								
40	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足 のシェア)				
	奄美満喫ツアー等推 進事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	60.0 %	64.0 %	59.2 %	92.5%	△
	事業実施年度		評価	目標達成には至らなかったが、401件24,000人(平成29年度160件 19,192人)の参加があり奄美の持続的な観光振興に大きく寄与したと思 われる。				
H 30								
事業主体	今後の取組方針	奄美の魅力的な自然や文化等を体験できる本事業は、観光客の誘客 や、滞在促進に多大な効果を生むと評価しており、今後も事業を継続し たい。						
市町村								
41	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ガイドコース・プログラムメニューへの参加者数				
	エコツアーガイド人材 スキルアップ事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	50 人	128 人	256.0%	○
	事業実施年度		評価	ヨロン島エコツアーガイド連絡協議会の会員向けに行った研修会や先 進地である沖縄への視察研修を行うことで、ガイドの意識向上にもつな がり、大幅に目標を達成することができた。				
H 30								
事業主体	今後の取組方針	島内の各分野で活躍されている有識者に講師を依頼し、質の高い一定 したガイドサービスが提供できるように研修会等を通し、エコツアーガイ ドのスキルアップを図れるようにすることで、更に観光客の誘致及びよ り良いガイドを行えるようにする。						
与論町								
42	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	プログラムコースメニューへの参加者数				
	ウェルネスプログラム 商品開発実証事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	5 人	0 人	0.0%	×
	事業実施年度		評価	H30年度事業については試験的な部分が多く、受入れ体制が整ってい ないため実績成果は残せなかったが、需要や改善点など、今後の取組 の方向性が見い出せた。(参考:R1年度はモニターツアーとして7名が 参加)				
H 30								
事業主体	今後の取組方針	今回のモニターツアーで得られたアンケート結果をもとに、客層別のメ ニュー改良やリトリート人材育成を行い、オフシーズンの誘客に繋がる 滞在型観光プログラムの開発に取り組む。						
与論町								
43	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	郷土教育学習の開催回数				
	奄美・トカラ連携喜界 馬復活・活用プロジェ クト		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 回	1 回	1 回	100.0%	○
	事業実施年度		評価	早町小学校の児童を対象に馬の歴史と喜界島の文化を中心に学習会 を1回開催し、地域活性化に寄与したと思われる。				
H 30								
事業主体	今後の取組方針	今後も引き続き学習会を開催し、目標値を達成できるよう計画的に事 業に取り組む。						
喜界町								
44	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①ジオパーク推進協議会の開催回数 ②基本構想の策定				
	世界ジオパーク認定 に向けた奄美群島連 携事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値(①)	0 回	1 回	0 回	0.0%	×
	事業実施年度		値(②)	未策定	策定	策定	100.0%	○
H 30	評価	推進協議会の設立は行えなかったが、基本構想の策定は完了した。						
事業主体	今後の取組方針	推進協議会の設立を行い、基本構想に沿った事業を実施していく。						
喜界町								

45	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数				
	北山文化圏ロード構 築事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	14,288 人	15,000 人	17,282 人	115.2%	○
	事業実施年度		評価	H30.7.1よりアイランドホッピング便(徳之島⇄沖永良部⇄那覇)が就航したことにより大幅に増加し目標を上回った。				
H 30	事業主体	今後の取組方針	航空路を利用した入込拡大(主に南部)を目指すとともに、航路を利用した入込拡大(主に北部:本部港から)のために沖縄県北部(特につながりのある今帰仁村)との連携・交流を図り、更なる交流人口の拡大を目指す。					
	和泊町							
46	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①スポーツ教室・講演会の参加者数 ②スポーツ合宿受入延べ人数				
	徳之島スポーツアイラ ンド推進事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値(①)	300 人	600 人	450 人	75.0%	△
	事業実施年度		値(②)	2,852 人	3,200 人	2,022 人	63.2%	×
H 30	評価	新規団体(1団体)を受入ることができたが、例年受入れている団体の実人数が大幅に減少したので目標数値を達成できなかった。						
	事業主体	今後の取組方針	民間事業者と連携を図りながら、各種合宿誘致セミナーや研修会等に積極的な参加を呼びかけるとともに旅行代理店やエージェント等と連携を取りながらPR活動を展開していき、新規団体の受入れの増加を目指す。					
	徳之島町							
47	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①合宿受入延べ人数 ②合宿受入団体数				
	合宿日本一の"島"推 進事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値(①)	6,669 人	7,000 人	6,829 人	97.6%	△
	事業実施年度		値(②)	36 団体	40 団体	42 団体	105.0%	○
H 30	評価	目標値を達成したことは評価するものの、今後さらなる受入態勢の強化・環境の整備を図る。						
	事業主体	今後の取組方針	誘致活動や広報・PRを積極的に行い合宿受入の増加を図るとともに受入環境の整備を行う。またスポーツ教室や講演会を行い交流人口の増加に努め、スポーツを通じた産業振興を図る。					
	天城町							
48	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	スポーツ指導者の育成数				
	小さな島でもでっかい スポーツ環境創出プ ロジェクト事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	1 人	0 人	0.0%	×
	事業実施年度		評価	多くの指導者に来島いただき講習会を実施できたことは評価できる。今後は、島内の指導者育成や雇用創出を図る。				
H 30	事業主体	今後の取組方針	次年度以降は、島内で指導者を養成することにより、自前で講習会を開催できるスキームの確立を図る。					
	知名町							
49	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ボランティア活動参加者数				
	よろんスポーツ交流活 性化事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	40 人	26 人	65.0%	×
	事業実施年度		評価	目標は達成できなかったが、ボランティアモニターツアー体験を目的とした需要があることを把握することができた。				
H 30	事業主体	今後の取組方針	周知活動を行いつつ、参加者から収集したアンケートをもとに、魅力的なプログラム作成し、旅行会社、ボランティア事業者と連携を図りながら旅行商品の造成を行う。					
	与論町							
50	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	チャレンジ世代(20~44歳人口)人口				
	奄美群島成長戦略ビ ジョン実現事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 22 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	26,346 人	23,800 人	21,624 人	90.9%	△
	事業実施年度		評価	チャレンジ世代の減少に歯止めがかかっていない状況である。重点3分野を中心とした産業振興による雇用創出が必要である。				
H 26 ~ H 30	事業主体	今後の取組方針	奄美群島全体としての課題や、先進的な取り組みを群島に波及するための取組を検討していく。					
	奄美群島広域事務組 合							

51	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島における産業経済の活性化及び地域社会の規模・機能維持に資する起業・事業拡大・地域課題解決プロジェクトの創出件数				
	奄美群島チャレンジ人材育成事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 件	30 件	54 件	180.0%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	達成状況は良好。今後も奄美群島における、民間主導型の産業振興モデルを構築する人材の確保、育成に努める。			
H 26 ~ H 30	当初の目標に対して大きく超える実績となった。今後も成長戦略ビジョンに掲げる重点三分野を軸に更なる産業振興を図る。							
事業主体		奄美群島広域事務組合						
52	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島における産業経済の活性化及び地域社会の規模・機能維持に資する起業・事業拡大・地域課題解決プロジェクトの創出件数				
	人材育成成果発表会		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 件	30 件	54 件	180.0%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	達成状況は良好。今後も、奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に努める。			
H 26 ~ H 30	当初の目標に対して大きく超える実績となった。今後も広域事務組合の実施した人材育成事業参加者等の体験を共有することで、更なる人材の掘り起こしを図る。							
事業主体		奄美群島広域事務組合						
53	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	入込客数の内、観光客が占める割合(当事業内において実施している観光振興基礎調査に基づいて推計)				
	奄美群島観光物産広域連携事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	44.87 %	46.1 %	32.8 %	71.1%	△
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	平成30年度は年間を通して多くの台風が発生した年であった。観光業の繁忙期となる夏季シーズン観光を目的とする来島が伸び悩んだことが一因と考えられる。			
H 26 ~ H 30	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。							
事業主体		奄美群島広域事務組合						
54	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	移住体験事業参加者のうち、移住した者の数				
	UIOターン支援体制構築事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	40 人	40 人	100.0%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	46組74名の方が移住体験ツアー・プログラム参加いただき、5年間の目標達成に寄与したと考えられる。			
H 26 ~ H 30	移住者増加のためには群島へ訪れる方を増やすことが重要と考え、今後も群島一帯となった情報発信や窓口の一本化に取り組み、移住相談会への出展・群島版移住パンフレット等作成など群島周知に力を入れ、来島者と移住者の増加を目指す。							
事業主体		奄美群島広域事務組合						
55	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島で活動する奄美群島認定エコツアーガイド者数				
	奄美群島エコツーリズム推進事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	50 人	85 人	170.0%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	特に奄美大島からの認定講習受講者が多く、目標値を超える実績を確保することができた。また、群島内各島に認定エコツアーガイドを養成することができた。			
H 26 ~ H 30	今後も世界自然遺産登録を見据え、エコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図る。							
事業主体		奄美群島広域事務組合						
56	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
	奄美群島地域通訳案内士育成事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	0 人	71 人	107 人	150.7%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	特に奄美大島からの研修会受講者が多く、目標値を超える実績を確保することができた。また、群島内各島に地域通訳案内士を育成することができた。			
H 26 ~ H 30	今後も世界自然遺産登録を見据え、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。							
事業主体		奄美群島広域事務組合						

57	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	本事業で大学と連携して活性化に取り組む集落数の増加					
	環境文化を活用した 地域振興事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	事業実施年度		評価	値	0 集落	12 集落	12 集落	100.0%	○
	H 27 ~ H 30			12市町村の12集落において大学と連携して実施した聞き書き調査やワークショップにより作成した集落マップ等をまとめ、ストーリーテキスト「奄美群島の残したいもの伝えたいもの～12集落の宝もの～」を作成した。					
事業主体	今後の取組方針	奄美群島広域事務組合 H30年度までで事業終了							
58	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島における産業経済の活性化及び地域社会の規模・機能維持に資する起業・事業拡大・地域課題解決プロジェクトの創出件数					
	育成人材フォローアップ事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	事業実施年度		評価	値	0 件	30 件	54 件	180.0%	○
	H 30			目標を大幅に達成し、育成人材のフォローアップやスキルアップ等に寄与することができた。					
事業主体	今後の取組方針	奄美群島広域事務組合 平成30年度にて事業終了							
59	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①ノヤギの推定生息数 ②【参考】捕獲数					
	ヤギ被害防除対策事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 23 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
			値(①)	1,262 頭	500 頭	— (統計なし)		—	
	事業実施年度		評価	値(②)	— 頭	— 頭	219 頭		
H 26 ~ H 30	生息調査が未実施のため、推定生息数が不明であるが、平成30年度は219頭のノヤギ駆除を実施し、植生等の保護を図っている。								
事業主体	今後の取組方針	市町村 今後生息数の調査が検討されている。この調査を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。							
60	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH24(またはH24以降初めて調査した年(以下、「H24※」と表記。))と比較して5%以上、上昇した箇所数の増加 ②サンゴ礁被度がH24※比で5%以上、低下した箇所数の減少 ③サンゴ礁被度がH24※比で新たに60%以上となる箇所数の増加					
	サンゴ礁保全対策事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
			値(①)	24 か所	35 か所	55 か所	157.1%	○	
	事業実施年度		評価	値(②)	12 か所	5 か所	18 か所	未達成	×
H 26 ~ H 30	値(③)	3 か所		10 か所	15 か所	150.0%	○		
事業主体	今後の取組方針	市町村及び奄美群島サンゴ礁保全対策協議会 モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。							
61	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加					
	非常用発電施設整備事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 22 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	事業実施年度		評価	値	29,771 百万円	35,725 百万円	29,118 百万円	81.5%	△
	H 27 ~ H 29			目標達成には届かなかったものの、整備した非常用発電施設により、農家所得の安定が図られている。					
事業主体	今後の取組方針	和泊町 引き続き、奄美群島特有の条件不利性を解消するための施設を整備し、農業の生産基盤の整備を図る。							
62	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	防災行政無線(同報系)のデジタル化整備率					
	防災関連施設整備事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定	
			年度	平成 25 年度	平成 30 年度	平成 30 年度			
	事業実施年度		評価	値	50 %	100 %	99.5 %	99.5%	△
	H 26 ~ H 30			ほとんどの地域で整備を完了している。					
事業主体	今後の取組方針	市町村 台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。							

63	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数				
	ネコ対策事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	346 件	1,000 件	1,359 件	135.9%	○
	事業実施年度			評価	目標を達成し、自然生態系の保全に寄与できたと思われる。			
H 28 ~ H 30		今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。					
事業主体	市町村							
64	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	外来植物の駆除量				
	奄美大島希少野生動物保護事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	1,872 kg	2,340 kg	24,000 kg	1025.6%	○
	事業実施年度			評価	目標を上回っているが、泥も含めた植物の駆除量であるため、参考値である。			
H 28 ~ H 30		今後の取組方針	世界自然遺産登録を間近に控え、認知度が高まっている現状を踏まえ、引き続き事業を実施していく。					
事業主体	奄美大島自然保護協議会							
65	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
	奄美群島水産物流通支援実証事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 29 年度	平成 29 年度		
			値	580 トン	638 トン	928 トン	145.5%	○
	事業実施年度			評価	目標を大幅に達成し、水産物の販路拡大につながっている。			
H 28 ~ H 30		今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することによる効果を検証していく。					
事業主体	市町村							
66	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加				
	農業創出緊急支援事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 22 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	29,771 百万円	35,725 百万円	29,118 百万円	81.5%	△
	事業実施年度			評価	目標達成には届かなかったものの、マンゴー営農用ハウスやパレイショハーベスターの整備を進め、農業産出額の増加に一定の効果を果たすと評価できる。			
H 26 ~ H 30		今後の取組方針	引き続き、奄美群島特有の条件不利性を解消するための施設を中心に整備していき、農業の生産基盤の整備を図る。					
事業主体	市町村							
67	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加				
	奄美群島流通効率化事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値	29,771 百万円	35,725 百万円	29,118 百万円	81.5%	△
	事業実施年度			評価	目標達成には届かなかったものの、整備した施設により農家の安定出荷など一定の効果が得られている。			
H 26 ~ H 27		今後の取組方針	引き続き、奄美群島特有の条件不利性を解消するための施設を整備し、農業の生産基盤の整備を図る。					
事業主体	市町村							
68	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	<①保健センター>保健センターの利用者の人数[単位:人] <②医療センター>天城町民による町内医療機関の利用率[単位:%]				
	医療センター等整備事業		区分	基準	目標	実績	達成度	判定
			年度	①H23 ②H24	平成 30 年度	平成 30 年度		
			値(①)	2,000 人	3,000 人	1,640 人	54.7%	×
	事業実施年度			値(②)	27.1 %	33 %	29 %	87.9%
H 26 ~ H 28		評価	保健センター・医療センターともに目標を達成できなかったため、今後さらなる医療体制の強化と福祉の充実化を図る。					
事業主体	天城町		今後の取組方針	今後も医療体制の整備を実施し、住民はもとより、観光客にも安心して訪れてもらえる地域作りに努める。				